漁港は魚の保育園

漁港漁場月報のバックナンバーは
左のQRコードから読むことができます

漁港漁場月報

令和7年8月15日　発行
毎月　1回15日発行
編集兼発行人　公益社団法人　全国漁港漁場協会
田中　郁也
東京都千代田区神田鍛冶町3－6－7
ウンビン神田ビル2階
電話　東京(6206)0066
ホームページ　http://www.gyokou.or.jp/
定価　1部　70円　（会員の購読料は会費の中に含む）

九州地区漁港漁場大会

熊本県天草で開催

九州地区大会の様子

令和7年度九州地区漁港漁場大会が、熊本県漁港漁場協会主催、熊本県及び上天草市、天草市、苓北町後援により、7月24日午前10時から天草市民センターにおいて、九州各県から562名が参加して盛大に開催された。

大会開会前にオープニングとして、苓北中学校の生徒による「天領太鼓」の演奏が披露された。

大会は、山﨑秀典熊本県漁港漁場協会監事（苓北町長）の開会のことばで始まった。

次に主催者を代表して、堀江隆臣熊本県漁港漁場協会会長（上天草市長）が開会あいさつとして「本大会は九州地区からの要望を決定する大事なものとなる。

水産業を取り巻く環境は、様々な課題に直面している。

これらの課題に対応し、漁業従事者が安心して活動を継続するためには、水産物を安定的に確保するための漁場整備、安心して利用できる漁港整備を継続して行うことが必要であり、ひいては漁業従事者に還元できる体制が確保されることにつながると思う。

本日は九州各地から天草市民センターに一堂に会していただき、心強いばかりである。皆様には決議案について検討いただき、忌憚のない意見をお願いする」と述べた。

続いて、藤田仁司水産庁長官の代理の中村隆漁港漁場整備部長から挨拶があった。

続いて、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長、金子恭之衆議院議員（漁港漁場漁村整備促進議員連盟副会長）、竹内信義熊本県議会副議長より順次祝辞が述べられた。

その後開催市を代表して、馬場昭治天草市長が歓迎のことばを述べた後、堀江会長を議長として議事に移った。

議事では先ず、次の各県提出議題について代表県から説明が行われ、満場一致で採択された。

一、水産物の流通・生産の拠点となる漁港等の機能強化による水産業の成長産業化の実現（比田勝尚喜長崎県漁港漁場協会長（対馬市長）

一、海洋環境の変化に対応した漁場整備及び持続可能な漁業生産を確保する技術開発の推進（佐藤政俊福岡県漁港漁場協会長（福岡県漁連会長））

一、漁港・漁村・海岸の強靭化と長寿命化による安全・安心の確保（市田惠八朗鹿児島県漁港漁場協会副会長（鹿児島県漁連会長、枕崎市漁協組合長）

一、海業の振興による多様な人材が活躍できる水産業と漁村地域の持続的な発展（峰達郎佐賀県漁港漁場協会会長（唐津市長））

次いで大会決議（案）を、山田豊隆熊本県漁港漁場協会副会長（津奈木町長）が朗読し、同じく満場一致で採択された。

次期開催県として當銘真栄沖縄県漁港漁場協会会長（糸満市長）の歓迎の挨拶があり、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長の万歳三唱、江口幸男熊本県漁港漁場協会監事（天草漁協組合長）の閉会のことばで大会は終了した。

大会終了後、参加者は「くまモン」も参加したロックハイヤ（ユミダンスタジオ）、牛深ハイヤ（牛深高校郷土芸能部）を鑑賞し、天草の材料をふんだんに使った特製弁当を堪能した後、それぞれ天草各所の現地視察を行った。

北日本地区漁港漁場協議会

新潟市で開催

令和7年度北日本地区漁港漁場協議会が、7月15日午後3時から新潟市の「東映ホテル」において、秋田、山形、新潟、富山、石川の5県のほか水産庁、全国協会から漁港漁場関係者約40名が参加して開催された。

冒頭、寺尾和弥（公社）新潟県水産振興協会会長（新潟県漁業協同組合連合会会長）の挨拶のあと、来賓の的野博行水産庁漁港漁場整備部事業課長、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長が祝辞を述べた。

開催県として、寺尾会長が議長となり、令和8年度予算編成等に対する要請活動に向けて、第74回全国漁港漁場大会に提出する議題について、第1号議案から第12号議案まで、各提案県から提案理由の説明の後、審議した。いずれの議題も案どおりに提案することを満場一致で決議した。

北日本地区漁港漁場協議会の様子

［第1号議案］漁港施設の防災・減災機能の強化、及び既存漁港施設の維持・保全の計画的な促進

［第2号議案］共同利用施設の再整備にあたっての助成制度の拡充

［第3号議案］漁港・漁村における漁業後継者の育成や定住促進等の取組と連携した海業の振興

［第4号議案］激甚化・頻発化する自然災害への対応力強化のため、「国土強靭化実施中期計画」の推進に必要な予算・財源を別枠で確保

［第5号議案］海業振興による地域経済活性化に向けて、海業振興支援事業を中長期的に継続し、必要な予算を確保するとともに、海業支援に関する補助を拡充する等の制度の充実

［第6号議案］漁港施設の計画的な維持保全及び長寿命化の推進

［第7号議案］沿岸域・沖合域における洋上風力発電施設の建設に伴う漁業の影響について

［第8号議案］計画的な維持保全及び長寿命化の推進のための事業制度について

［第9号議案］「海業」振興における民間事業者の参入促進

［第10号議案］水産物供給基盤機能保全事業の事業採択要件の緩和

［第11号議案］小規模漁港における漁港・海岸の一体的整備にかかる制度の新設

［第12号議案］藻場の保全・創造にかかる安定的な予算確保

続いて、北日本地区の各協会の総意を示すための決議文が諮られ、採択された。また、次年度の当協議会開催県は富山県に決定した。

議事終了後、水産庁的野事業課長より、「漁港漁場漁村に係る取り組みについての講演があり、漁港整備の課題や「海業」について、具体的な事例を踏まえて説明された。

この度の協議会は、度重なる災害に対応し、厳しい現状にある水産業を「海業」を中心とし、自らが創意工夫に努めるほか、関係者が問題意識を共有し、国等へ働きかけることの重要性について、改めて確認する有益な場となった。

東北太平洋漁港ブロック協議会

八戸市で開催

令和7年度東北太平洋漁港ブロック協議会が、7月10日八戸市の「八戸プラザホテル」において開催され、青森、岩手、宮城、福島の4県の漁港漁場関係者86名が出席した。

冒頭、幹事県協会の冨岡宏青森県漁港漁場協会代表理事（風間浦村長）が挨拶し、「水産業や漁村が厳しい状況に置かれる中、日頃より様々な立場で、漁港、漁場、漁村の整備や災害からの更なる復興などにご尽力されていることに敬意を表する。東北大学の研究によれば、23年から24年にかけて三陸沖の水温が平年に比べ6度ほど高くなり、世界の海の中で最大の水温上昇となった。東北太平洋沿岸ではこれまで経験したことのない大きな環境の変化が進んでおり、資源動向、漁場形成、養殖成績の落ち込み等多くの影響を受け、基幹産業として地域を支えてきた水産業に打撃を与え、その結果漁村地域の人口減少に一層の拍車をかけている。漁業者はこれまでの経験を活かし、様々な改善に取り組んでいるが、大規模かつ広範囲に及ぶ変化に対応していくことには限界がある。このような厳しい状況に晒されている東北太平洋ブロックの課題を多くの方々に理解していただき、厳しい現状に立ち向かうための情報共有の場となることを期待している」と呼びかけた。

次に、来賓の中村隆水産庁漁港漁場整備部長え、その結果漁村地域の人口減少に一層の拍車をかけている。漁業者はこれまでの経験を活かし、様々な改善に取り組んでいるが、大規模かつ広範囲に及ぶ変化に対応していくことには限界があった。

議事は、冨岡宏青森県漁港漁場協会代表理事を議長として進められ、まず、一般社団法人岩手県漁港漁村協会の山崎義広副会長より、「第74回全国漁港漁場大会への提言事項（案）について」の提案説明があり、

一、被災漁港・漁場・漁村のさらなる復興と防災減災のための予算の確保

二、漁港漁場整備長期計画等に基づき各県の実情を考慮しつつ、次に掲げる項目を推進

①水産業の成長産業化に向けた流通・生産機能の強化や増養殖の推進

②持続可能な水産業と環境保全の両立に向けた藻場造成など沿岸環境の整備推進

③漁村の活性化と所得向上に向けた海業への取組の推進

という二つの大項目の提言事項について、満場一致で採択された。

86名が参加した東北ブロック協議会

休憩後、新村防災漁村課長から「漁港漁場漁村に係る取り組み」、高橋進吾青森県産業技術センター水産総合研究所企画経営監から「青森県水産業の概要と試験研究の取組み」の講演が行われた。

最後に、来年の協議会開催地の宮城県漁港漁場協会の佐藤光樹副会長から閉会の挨拶が有り、多くの方々の宮城県へのお越しを期待する旨が述べられた。

近畿ブロック漁港漁場協会協議会

福井市で開催

第74回近畿ブロック漁港漁場協会協議会が、7月23日福井市の「ホテルフジタ福井」において開催され、滋賀、京都、大阪、和歌山、兵庫、福井の6府県の漁港漁場協会の代表者及び来賓等27名が出席した。

6府県の関係者らが集まった近畿ブロック協議会

冒頭、幹事県協会である福井県漁港漁場協会の髙田浩樹会長（越前町長）が「水産業、漁港漁村を取り巻く環境は、著しく変化しており、地球温暖化による沿岸環境の変化なども加わり、一段と厳しくなっているのが現状である。

近年猛威を増している大型台風や急速に発達する低気圧等に備えて、漁港・漁村の防災・減災対策や、漁港等インフラの老朽化対策を進めるとともに、漁場の環境保全、磯根資源の創出等、水産環境の整備にも戦略的に力強く取組む必要があると考えている」と挨拶した。

続いて的野博行水産庁漁港漁場整備部事業課長、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長（代読・森田正博常務理事）、前田泰昌福井県農林水産部副部長が来賓の挨拶を述べた。

議事は、髙田会長が議長となり進められ、第74回全国漁港漁場大会への提案事項について、全6議題及び決議が、近畿ブロック6府県の共同提案として提出することが承認された。

提案事項は次のとおり。

一、漁港漁場整備長期計画の推進と令和8年度予算の確保について

二、漁港漁場漁村環境整備の促進と令和8年度予算の確保について

三、漁港海岸事業の促進と令和8年度予算の確保について

四、豊かな海の再生について

五、漁港・海岸の施設整備等に係る補助事業の拡充

六、地震津波浸水対策の促進について

次いで、次期開催県について協議され、滋賀県で開催することを決定し、上垣雅史滋賀県水産多面的機能発揮協議会事務局長から歓迎の挨拶があった。

協議会終了後、水産庁の的野課長による「漁港漁場漁村に係る取り組み」、福井県高浜町産業振興課の中村広花主査による「高浜町における海の6次産業化と海業」の講演があり盛会のうちに終了した。

総会と要請を実施

全国水産都市三団体連絡協議会

役員で庄子賢一農林水産大臣政務官へ要望書を手交

全国水産都市三団体連絡協議会（会長・久保俊幸特定第三種漁港都市等・全国主要水産都市商工会議所連絡協議会会長（函館商工会議所会頭））は、令和7年度定期総会を7月18日に東京都内の商工会館で開催した。

三団体を構成する全国市議会議長会特定第三種漁港都市等・全国主要水産都市商工会議所連絡協議会（商工会議所会）の関係者ら約70名が出席した。

冒頭、久保会長の主催者挨拶に続き、来賓の中村隆水産庁漁港漁場整備部長が挨拶をした。

久保会長を議長に議事に入り、令和6年度事業報告、同歳入歳出決算、令和7年度事業計画案、同歳入歳出予算案、令和7年度国に対する要望書（水産業を守り水産物の安定供給を図る政策に関する要望書）について審議し、全て原案通り承認した。

続けて、中村部長が「漁港漁場漁村に係る取り組み」をテーマに講演を行った。

総会終了後、久保会長をはじめとした役員ほか参加者で、国に対する要望書を携えて農林水産省と財務省へ要請活動を行った。また、会員市が選挙区等の衆議院議員及び参議院議員43名並びに漁港漁場漁村整備促進議員連盟の役員15名の計58名の国会議員には、役員が所属する協議会担当者及び事務局が、議員会館を回り要望書を手渡した。

第76回通常総会を開催

宮崎県漁港漁場協会

宮崎県漁港漁場協会（会長・高橋透日南市長）は、7月15日（火）午後1時15分から宮崎市「宮崎観光ホテル」において、第76回通常総会を開催した。

冒頭、高橋会長の挨拶に続き、来賓の河野俊嗣宮崎県知事、外山衛宮崎県議会議長、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会長（代読・森田正博（公社）全国漁港漁場協会常務理事）が祝辞を述べた。

続いて、高橋会長を議長として議事に入り、令和6年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分（案）について、令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）並びに会費（案）について、顧問及び参与の委嘱について、任期満了に伴う理事及び監事の選任についての議案が全て原案どおり承認されるとともに、その他の報告事項として令和7年度九州地区漁港漁場大会及び第74回全国漁港漁場大会についての説明があり、通常総会を終了した。

また、次期役員選任について理事会が開催され、高橋会長、宇戸田定信副会長（北浦漁協組合長）、矢部廣一副会長（宮崎市漁協組合長）、吉野志朗副会長（串間市漁協組合長）が再任された。

高橋会長は「水産業を取り巻く状況が厳しい中、舵取りの責任の重さを痛感しているが、皆様の協力を得てしっかり努めて参りたい」と挨拶した。

宮崎県協会の総会の様子

第77回通常総会を開催

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会（会長・板原啓文土佐市長）は、7月29日（火）に高知市内の「高知会館」において第77回通常総会を開催した。

冒頭、板原会長から「本県水産業は、長引く漁獲不振に加え漁業従事者の減少など、さまざまな問題を抱えている。さらに、最近の世界情勢により、物価やエネルギー価格は高騰し、消費者にとっても、漁業者にとっても、依然として大変厳しい状況に直面している。このようななか、水産物の安定した供給と生産の増大を確保していくためには、漁港と漁場が機能し、地域を活性化していくことが重要である。協会としては、関係機関や団体などと連携し、本県水産業の振興に一層の努力を続けるので、皆様にはこれまで以上のご支援とご協力お願い申し上げる」と挨拶した。

挨拶する板原会長

続いて、来賓の上田貢太郎高知県議会副議長、高原裕一水産庁漁港漁場整備部防災漁村課水産施設災害対策室長、田中郁也全国漁港漁場協会会長、山下修高知県水産振興部長が祝辞を述べた。

その後、板原会長を議長に議事に入り、令和6年度事業報告及び収支決算、令和7年度事業計画（案）、収支予算（案）及び会費（案）の各議案を原案どおり承認し総会は終了した。

総会終了後、水産庁の高原室長による「漁港漁場漁村に係る取り組み」についての講演が行われ、活発な意見交換の後に終了した。

令和7年度通常総会を開催

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会（会長・前田晋太郎下関市長）は、7月28日（月）14時から山口市の「KKR山口あさくら」において、令和7年度通常総会を開催した。

冒頭、前田会長が「水産業を取り巻く状況は厳しいが、皆様方と手を取り合い明るい未来を見据えて盛り上げていきたい。

下関市で全国漁港漁場大会を開催するため、鋭意準備を進めている。地方で開催されるのは、函館市以来3年ぶりであるが、函館市の皆様が、お客さんが来て嬉しいと言われていたことが印象的だった。地方を元気にする漁港漁場協会の大会であり、地方で行うことの意義は非常に大きなものがある。開催地として精一杯おもてなししたい。

山口県協会の総会の様子

下関では沖合底曳き網漁業で20年ぶりに新船を建造し、若い人たちの中では未来に向けてチャレンジする姿勢も出てきている。そのようなうねりや、このまま負けられないといった気持ちが各地域で生まれるよう頑張ってまいりたい」と挨拶した。

続いて、来賓の田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長、中村圭吾山口県農林水産部理事が祝辞を述べた。

その後、前田会長を議長として議事に入り、令和6年度事業報告・収支決算・剰余金の処分、令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）、役員の改選、顧問の推薦について審議が行われ、全て原案どおり承認された。

また、総会終了後、改選された新理事により正副会長を選出する理事互選会が開催され、会長には前田晋太郎理事（下関市長）、副会長には池田豊理事（防府市長）及び森友信理事（山口県漁業協同組合代表理事組合長）が再任された。

第42回通常総会を開催

広島県漁港協会

広島県漁港協会（会長・新原芳明呉市長）は、7月30日（水）16時から呉市の「呉阪急ホテル」において、令和7年度通常総会を開催した。

冒頭、新原会長から「海域環境の変化、漁獲低迷に加え、物価上昇や原油高騰等で消費動向が大きく変化するなど多くの課題を抱えている。水産業を魅力ある産業として次世代に伝えていくためには、漁港や漁場、海岸の整備など、国・県からの計画的かつ力強い支援が必要である旨の要望をお伝えするとともに、今後も、会員の皆様と協力して丁寧な要望活動を行う」と挨拶した。

広島県協会の総会の様子

その後、来賓として全国漁港漁場協会の田中会長、広島県土木建築局局長代理の前原港湾漁港整備課長が祝辞を述べた。

樋口組合長（深江漁業協同組合）が、議長に選出され議事に入った。令和6年度事業報告及び収支決算及び剰余金処分承認の件、令和7年度事業計画及び収支予算、令和7年度会費及び負担金の額並びに徴収方法が原案どおり承認された。

総会終了後、意見交換会を開催し、盛会のうちに終了した。

第78回通常総会を開催

愛媛県漁港漁場協会

愛媛県漁港漁場協会（会長・中畑保一県議会議員）は、7月31日午後4時から「ANAクラウンプラザホテル松山」において第78回通常総会を開催した。

開会の挨拶で中畑会長が「昨年は元日に発生した能登半島地震や豪雨をはじめ、初の南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、近年の切迫する大規模自然災害に対する備えを強める必要がある。水産業・漁村を取り巻く環境は、コロナウイルスによる閉塞感からの解放により、水産物の消費や輸出拡大を期待しているが、水産資源の減少、漁業従事者の減少・高齢化に加え、最近ではアメリカの高関税政策など多くの課題を抱えている。また南海トラフ地震による甚大な津波被害が生じる恐れのある漁村において、安心して暮らせる水産基盤整備が着実に進むことを期待している」と述べた。続いて、中村隆水産庁漁港漁場整備部長（代理・染川洋計画・海業政策課海業振興室長）、中村時広愛媛県知事（代理・久保圭一朗農林水産部長）、田中郁也（公社）全国漁港漁場協会会長が来賓祝辞を述べた。

愛媛県協会の総会の様子

議事に先立ち功績者表彰が行われ、宇和島市水産課漁港建設係長の山内佑治氏に、会長から賞状と記念品が贈呈された。

中畑会長を議長として議事に入り、令和6年度事業報告及び収支決算、令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）の議案が原案どおり承認された。その他の議題として、第74回全国漁港漁場大会への参加協力要請が行われた。

総会終了後、染川洋室長から「漁港漁場漁村に係る取り組み」と題して講演が行われ盛会のうちに終了した。

漁港漁場事業研修会を開催

兵庫県漁港漁場協会

兵庫県漁港漁場協会（会長・浜上勇人香美町長）は、5月22日（木）、県水産漁港課との共催で、多くの水産基盤整備事業が進められている姫路市において、県及び協会会員（市町、漁業協同組合等）50名の参加を得て、漁港漁場事業研修会を開催した。

本年は、例年の座学研修から現地視察の研修会に変更し、小寺寿充県水産漁港課漁港整備官の挨拶で研修を開始した。

午前は、令和5年3月13日に新たに開場した姫路市中央卸売市場を視察し、午後は、坊勢漁業協同組合が運営する漁業見学&体験ツアーを活用した第八ふじなみ（漁業体験見学船）による海上視察を行うとともに、姫路農林水産振興事務所による説明を受けた。

姫路市中央卸売市場の活魚水槽を見学する様子

①姫路市中央卸売市場の概要について

姫路市農林水産環境局中央卸売市場（業務担当）課長補佐　森田邦裕（跡地担当）主任　土井隆史

②第八ふじなみ（漁業体験見学船）の海上視察について

坊勢漁業協同組合上田章太

③妻鹿漁港整備事業について

兵庫県中播磨県民センター姫路農林水産振興事務所漁港課長　松村俊宏

妻鹿漁港の大型浮桟橋整備事業の説明を受けた。

中央卸売市場視察においては、新市場の特長である①外気の遮断による品質・衛生管理体制の強化、②入荷から出荷までの適正な温度管理、③施設の集約化などによる場内物流の効率化などの説明を受け、卸売場棟の青果や水産関係の施設を見学した。

また、第八ふじなみによる海上視察では、定置網漁業の網揚げ状況や「第2の鹿ノ瀬構想」の一環として整備された大規模石材礁の3Dソナーによる見学を行い、参加者は熱心にモニターを視聴し質問するなど、大変有意義な研修となった。

説明者は次の通り。

水産庁人事異動

（八月一日付）

計画・海業政策課総括班企画法令係長（計画・海業政策課総括班企画法令係長・農産局総務課付）本庄谷多一郎▽事業課漁港漁場専門官（事業課漁港漁場専門官・農産局総務課付）鈴木航